

# 白井市地域公共交通網形成計画策定に係る関係者ヒアリング結果

課題の視点 関係者	鉄道事業者 (北総鉄道株)	バス事業者 (ちばレインボーバス株、船橋新京成バス株、鎌ヶ谷観光バス(有))	タクシー事業者 (有)白井タクシー、エミタスタクシー白井株
① 利用状況の傾向や運行における課題、経営状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>路線全体での利用者は横ばい又は上向きだが、白井・西白井駅では減少傾向がみられる。</li> <li>運賃については、経営状況を鑑み、当分の間は現在の水準を維持せざるを得ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的な利用者数は減少傾向(路線単体では赤字路線もある)。</li> <li>朝の通勤通学時間帯で利用が多いが、日中利用は少ない。</li> <li>新規路線(新鎌ヶ谷方面)は固定客が定着しつつあり、通勤の足としても利用されている。</li> <li>長距離の路線で、定時性を確保できない路線について、折り返しのスペースの土地が無く、路線の検討ができない。</li> <li>ICカードリーダーのOS更新など、将来に巨額な投資も控えているため他に投資しづらく路線廃止も視野に入れなければならない場合もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日中の利用が多く、駅や病院や工業団地へのアクセスが多い。</li> <li>待機が基本で流しの運行は行っていない。</li> <li>夏は市民プールへの需要も多く、白井方面の繁忙期はお彼岸の時期で、年末年始はあまり忙しくない。</li> <li>利用が集中する荒天時やイベント時に予約がとれない場合があるが、維持費の負担もあり適正規模を考えるのが難しい。</li> <li>市の福祉タクシー券を利用する方もいる。</li> </ul>
② 市全体の公共交通について、課題や改善すべき内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>移動の際、バスから鉄道へ乗り換えるという流れがあるが、その流れが小さいことが課題。</li> <li>各割引乗車券のサービスについてのPRの強化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>循環バスとは便数などで一定のすみわけはあるが、運賃等で競合が起こりやすい。</li> <li>循環バスは市内循環としているが、目的地まで時間がかかりすぎる。拠点を駅にし、ワゴン車を導入する方法もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路の混雑による渋滞により速達性が失われる。</li> <li>自家用車利用が多く、公共交通の利用者が少ない。</li> <li>路線バスの増加が望まれているが、バスが増加すればタクシー利用は減るため、難しい問題と捉えている。</li> </ul>
③ まちづくりと連携して市内全体の公共交通網を構築する取組みを進めるにあたって、交通事業者の立場での意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>白井市を含む沿線自治体とで構成される協議会において、沿線活性化のため、取組みの強化を模索している。</li> <li>当社沿線の駅前整備は、事業者の範疇にないため、一体的な整備が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>循環バスと路線バス、路線バス同士の役割分担が必要</li> <li>人が増えることにより路線を増やすことができる。まちづくりにも協力したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅周辺の送迎車の駐車による渋滞・危険が多く、朝夕の自家用車の制限や一般車とのすみわけなどの取組みの必要性の検討。</li> <li>集客施設などが少ないため、活性化がしにくいのではないかと。</li> </ul>
④ 公共交通の確保や維持での、地域住民との協働や意識啓発による維持や利用促進の取組への考え	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要と考えており、イベントの開催や住民向けに割引乗車券を発券している。(春まつり、車両基地まつり、1日乗車券、割引回数券 ※回数券についてはICカードへの移行が進み利用は減少傾向)</li> <li>駅構内での野菜販売等催事の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査をして公共交通への協力の是非を問うと、協力するとの回答が多いが、実際に協力いただけているか疑問。</li> <li>現状を維持・継続のためにも、チラシ配布などの啓発努力が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>普段よく利用されている方へは、繰り返し利用してもらえような取組みが必要。</li> <li>店舗との提携によりポイント制を設けることも考えられる。</li> </ul>
⑤ 事業工夫や企業戦略新規サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全・安心に利用していただくための施設の耐震化の実施。※実施中</li> <li>より便利に利用できるダイヤとなるようアクセス特急と普通列車との接続の改善。※実施中</li> <li>駅へのオープン型宅配BOXの設置※実施中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バスロケーションシステム導入の検討</li> <li>免許返納者への割引サービス※実施中</li> <li>通勤定期の同伴者への割引制度※実施中</li> <li>IP無線機の導入※実施中</li> <li>ワゴン車両の導入(既存バスと比べ購入費用は1/3～1/4程度)※実施中</li> <li>運転手の短縮勤務によるローテーション※実施中</li> <li>ICカードの非導入(コスト削減のため)※実施中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども通学タクシーサービス ※希望により実施</li> <li>陣痛タクシーサービス ※実施中</li> <li>乗合タクシーや福祉タクシーの検討</li> <li>介護タクシーの検討(実際には、乗務員が資格をとらなければならないため、難しい)</li> <li>初乗り運賃引下げの検討(都内で実施されたが、見極めが必要)</li> </ul>
⑥ 今後の白井市の公共交通のあり方、将来の展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>シームレス化という点から、鉄道と市循環バスなどとのセット乗車券については可能であれば考えていきたい。</li> <li>市内唯一の鉄道として、便利に利用していただくため、安定した輸送を提供する。</li> <li>割引乗車券の導入については、採算性が悪化した事例もあるため、慎重に判断する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者に配慮しつつ、路線バスと循環バスとの統一運賃の検討など、適正な受益者負担の考え方が必要。</li> <li>基幹路線を路線バスとし、循環バスはそれを補完する形となると考える。</li> <li>(運賃設定など難しい問題もあるが)循環バスと路線バス、路線バス同士の路線間の接続の検討、協議が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>循環バスについては、駅や病院を中心としたルート設定にしたほうがよい。また車両のサイズについても小型にし本数が増やせばよいと考える。</li> <li>福祉タクシー券の拡充の検討</li> </ul>

# 白井市地域公共交通網形成計画策定に係る関係者ヒアリング結果

関係者 課題の視点	病院 (千葉白井病院、北総白井病院、白井聖仁会病院)	関係者 課題の視点	白井工業団地協議会	関係者 課題の視点	白井市商工会
① 通院者や来訪者の交通手段の傾向	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くが自家用車であり、次に送迎車両、次いで路線バスや循環バスとなっていると思われる。</li> <li>車イスの利用者は、家族の送迎での通院が多い。</li> </ul>	① 工業団地の企業数、従業員数、勤務時間の傾向	<ul style="list-style-type: none"> <li>通勤者は、柏市、成田市、印西市、船橋市からの車での通勤が多い。</li> <li>企業数は278社、従業員数は6253人であり、多忙時には、パートや期間工により8000～10000人まで増加する。</li> <li>勤務時間帯は、8:00～19:00が7割程度を占める。</li> </ul>	① 白井市の公共交通について課題や改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅からのバス路線がないわけではないがわかりにくく本数も少なく感じる。</li> <li>駅前の駐車場が有料であることや使いづらいう状況がある。</li> </ul>
② 送迎バスの運行経路や頻度、時間帯など	<ul style="list-style-type: none"> <li>主に、印西方面、鎌ヶ谷方面、白井駅方面で運行。</li> <li>頻度は、1日2便から15便程度であり、病院により大きく異なり、予約制で運行している病院もある。</li> <li>時間帯は、各病院とも診療時間を鑑み</li> </ul>	② 送迎バスの運行経路や頻度、時間帯など	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施企業は11社程度</li> <li>経路は、西白井駅、新鎌ヶ谷駅、高柳駅、柏駅。</li> <li>時間帯は、朝は7時半～8時が多く、夜は5時半から8時が多い。</li> <li>頻度は、1時間に1便程度。</li> </ul>	② まちづくりと連携して市内全体の公共交通網を構築する取り組みを進めるにあたっての状況や意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>免許返納にあたって、代替となる足の確保が必要。</li> <li>店舗によっては、送迎を行っているところもあり、有料や一定額以上のお買い上げで配達を行っているところもある。</li> </ul>
③ 通院における交通手段に関する問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>送迎車両は車イスやベビーカーの人は利用しにくい。</li> <li>市内駅からの交通手段が少ない(北総白井病院)。</li> <li>送迎車両による一時停車により、渋滞等の原因となることを懸念している。</li> </ul>	③ 従業員や来訪者の交通手段の傾向	<ul style="list-style-type: none"> <li>従業員: 自家用車(8～9割)、バス(1割)、自転車等(1割)</li> <li>来訪者: 車(6割)、バス・タクシー(各1割)、送迎(2割)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>市北部や西白井、七次台のあたりは車がないと買い物に行けない状況があり、移動販売などの手立てが考えられる。</li> </ul>
④ 白井市内の公共交通に関する問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>循環バスのルートがわかりづらいという話をよく聞く。</li> <li>バスの路線はあっても、昼間の本数が少なく、定時制が確保されにくい。</li> </ul>	④ マイカー通勤に関する問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝夕の通勤車により国道16号線に出入りする道路が混雑し、特に夕方5時過ぎは大型車・営業車で出入りに40～50分かかかる。</li> <li>パートなどの増加により駐車場がない事業者が出ている。</li> <li>協議会として路上駐車をなくすため独自に駐車場を用意して対策をしている。</li> </ul>	③ 今後の白井市の公共交通のあり方についての意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>木下街道の渋滞の解消(国道16号付近や八木ヶ谷交差点など)</li> <li>買い物弱者のためのサービスがある一方、気軽に外出をして買い物をすることができれば、健康にもつながる。</li> </ul>
⑤ 公共交通が便利になった場合、通院者、来訪者の公共交通利用推進の可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>送迎車両でカバーできていない時間帯の足がカバーできるようになる</li> <li>病院は必要があるから来る場所であるため、通院者が大きく増加するとは捉えていないが、利便性の向上は期待できる。</li> <li>鎌ヶ谷市へ通院する人が多いが、鎌ヶ谷市民が白井市側に通院することは少ない。</li> <li>送迎車両はPRとしても効果があるため、運行は継続する。</li> </ul>	⑤ 白井市の公共交通に関する問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>通勤に利用できる路線バスが限られており、運行本数が少ない。</li> <li>第2工業団地は、路線バスが途中までしかなく、会社まで徒歩30分かかるところもあり、利用がしにくい。</li> </ul>		
⑥ 今後の白井市の公共交通のあり方についての意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道とバスを乗り継げる環境があるとよい。</li> <li>他病院との送迎車両の連携(事故等、責任問題があるため対応が難しい)</li> </ul>				

# 白井市地域公共交通網形成計画策定に係る関係者ヒアリング結果

関係者 課題の視点	社会福祉協議会	関係者 課題の視点	社会福祉課 (障害福祉関係)	高齢者福祉課 (高齢者福祉関係)
① 協議会で実施している市民の移動支援など	<ul style="list-style-type: none"> <li>外出支援サービス(市委託事業)車イスで乗車できる車により医療機関等への送迎。</li> <li>買い物支援バス 要支援者を対象とした店舗までの送迎及び荷物の運搬。</li> </ul>	① 市民が日常的に訪れる福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者支援センターなどの市の施設のほか、NPO法人の「ぼけっと」(白井・根)や社会福祉法人の「明朝アカデミー(西白井)」など。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉センターや老人憩の家などの市の施設のほか、グループホームや特別養護老人ホームの施設など。</li> </ul>
② 移動制約者、外出困難者の外出傾向や課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>引きこもりに陥る可能性が高まるが、協議会では対象者の把握が難しく、情報提供や行事参加の働きかけに苦慮している。</li> </ul>	② 福祉施設への通所の際の交通手段の傾向	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間施設は施設の送迎による通所が多い。</li> <li>市施設については、自家用車の送迎が多く、バスが3～4割程度。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅前の施設は、徒歩・自転車・自家用車が多い。</li> <li>福祉センターは自家用車が多い。</li> <li>バスの利用は、元気な高齢者がされている。</li> </ul>
③ 市全体の公共交通について、課題や改善すべき内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉センターへのアクセスについて、交通の便が悪く自家用車利用が多いため、利用者の増加につながっていない。</li> <li>高齢者への割引バスを導入するなど、更なる高齢者の外出支援への取り組みの必要性の検討。</li> </ul>	③ 送迎を行っている施設、運行形態等	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間施設は送迎を実施しており、基本的にドアツードアで通所時間帯に合わせ、朝夕の送迎を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護施設は送迎を実施しており、基本的にドアツードアで通所時間帯に合わせ、朝夕の送迎を行っている。</li> </ul>
④ まちづくりと連携して市内全体の公共交通網を構築する取組みを進めるにあたって、協議会の立場での意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校区単位に地区社協があり、拠点となるが、第一小、第二小区は面積が広く、公共交通が整備されていない地域が多くあるため、マイクロバスやワゴン車で運行し、バスを補完できるよう期待したい。</li> </ul>	④ 施設への通所における交通手段の問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>バスを利用する障がい者は、バス停までやっとの思いで来られる人もおり、更に高齢になるとバス停で立ってられないという問題がある。ベンチなどの配慮が必要。また、市役所敷地内での保健福祉センター前にバスを停めるなどの検討が必要。</li> <li>循環バスのルートがわかりづらいという意見もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉センターへの循環バスの便数が少ない。</li> <li>高齢者は、バス停で立っているのがつらいため、ベンチなどの検討が必要。</li> </ul>
⑤ 今後の白井市の公共交通のあり方についての意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>小回りの利く市内交通網の整備</li> <li>高齢者や障害者に配慮した運行体制(循環バスは特に貴重な足となっている)</li> </ul>	⑤ 市内の公共交通について、問題点として感じる点	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者の大半は低所得者であるため、料金面の検討が必要。</li> <li>視覚障がい者は特にバスを利用しづらい現状があり、福祉タクシー券を拡充して欲しいとの要望がある。</li> <li>利用の際の段差などバリアフリー化が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>買い物支援バスサービスの実施にあたり、介護支援施設のマイクロバスを借りているが、マイクロバスを所有している施設が少ないため事業拡大が難しい。</li> <li>高齢者は、目的地まで乗り換え等があると、それが負担となる傾向もある。</li> </ul>
		⑥ 公共交通が便利になった場合、通所者の公共交通利用推進の可能	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健福祉センターへ来訪する障がい者の外出状況は、多い方で週2～3回。バスが利用しやすくなれば増加が見込めると考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自身で移動可能な高齢者の利用者増は見込める。</li> </ul>